

アンケート結果（報告）

令和元年度

浦添市在宅医療・介護連携支援センターうらっしー市民公開講座

知っ得！入院するとき・退院するとき
～住み慣れた地域で安心・安全に暮らすための入退院支援～

令和元年11月16日（土）14:00～16:30

アイム・ユニバース てだこホール・市民交流室

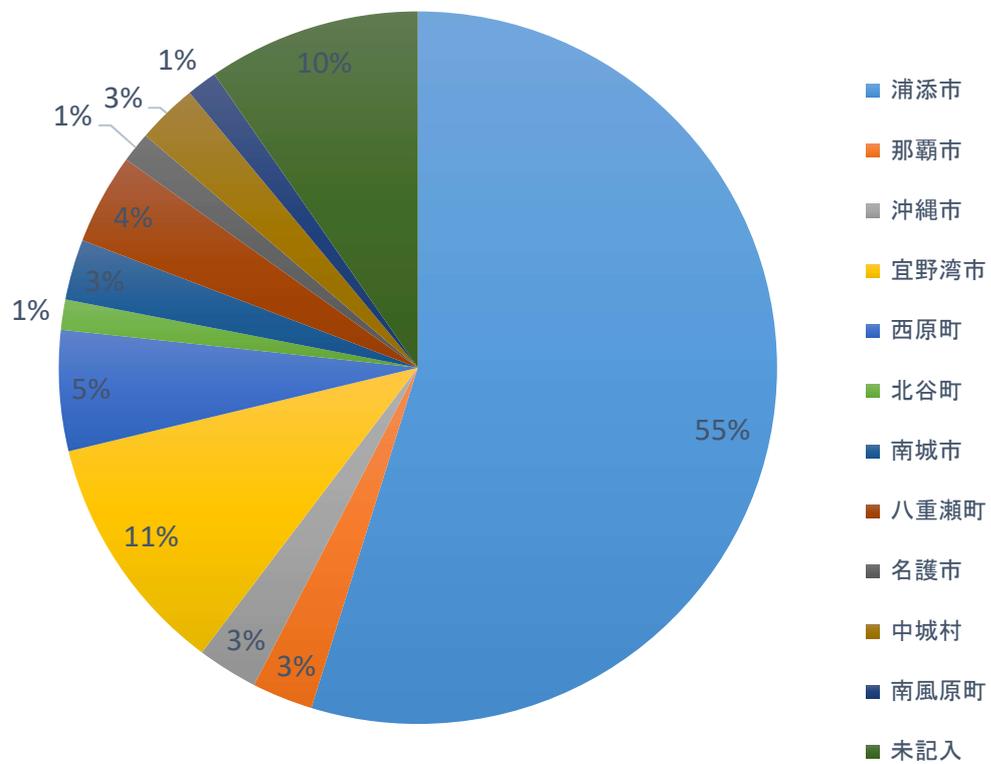
来場者総数：160名

アンケート回答者：73名/160名（回答率:45%）



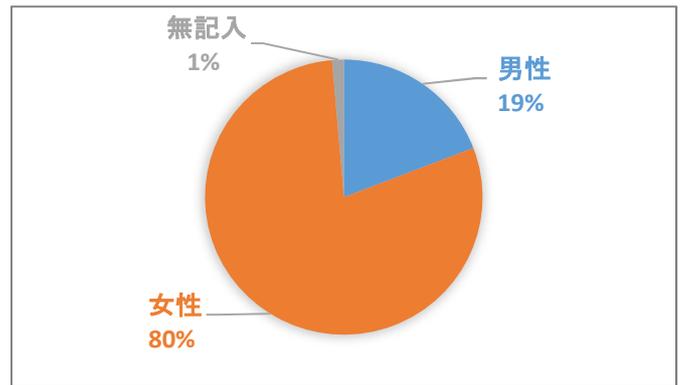
< 来場者(アンケート回答者)の市町村別内訳 >

市町村	人数
浦添市	40
那覇市	2
沖縄市	2
宜野湾市	8
西原町	4
北谷町	1
南城市	2
八重瀬町	3
名護市	1
中城村	2
南風原町	1
未記入	7
計	73



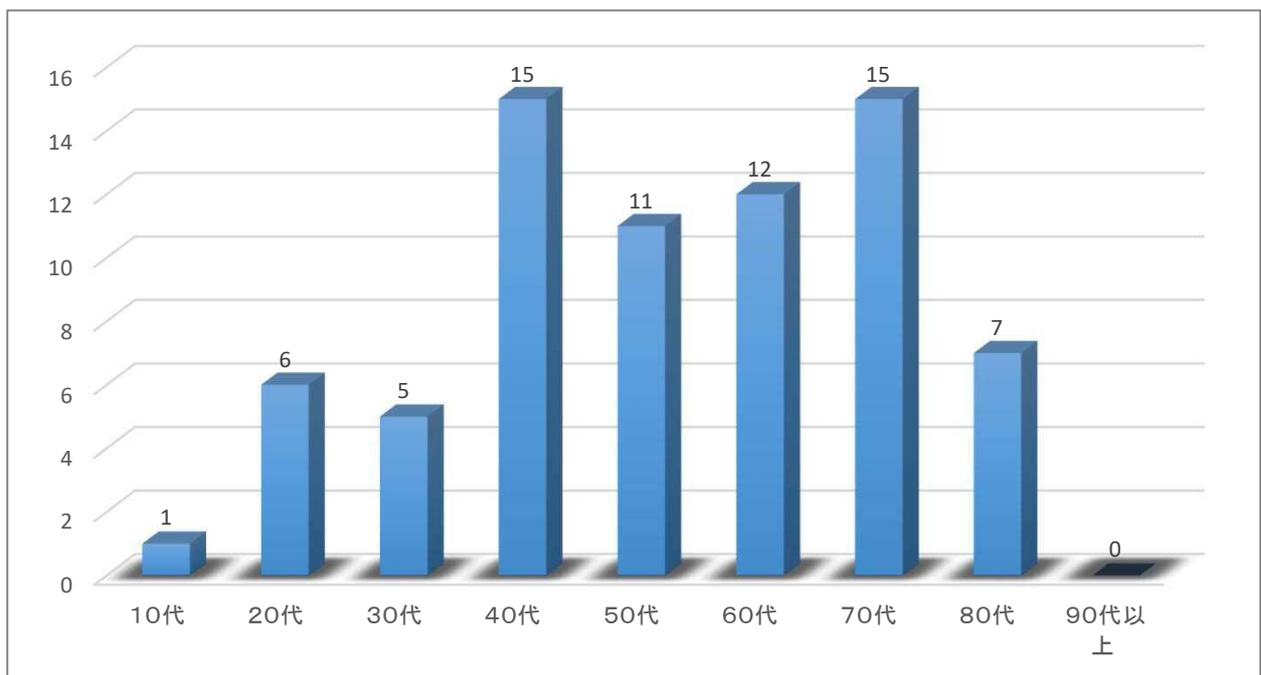
<来場者(アンケート回答者)の男女別内訳>

性別	人数
男性	14
女性	58
無記入	1
計	73

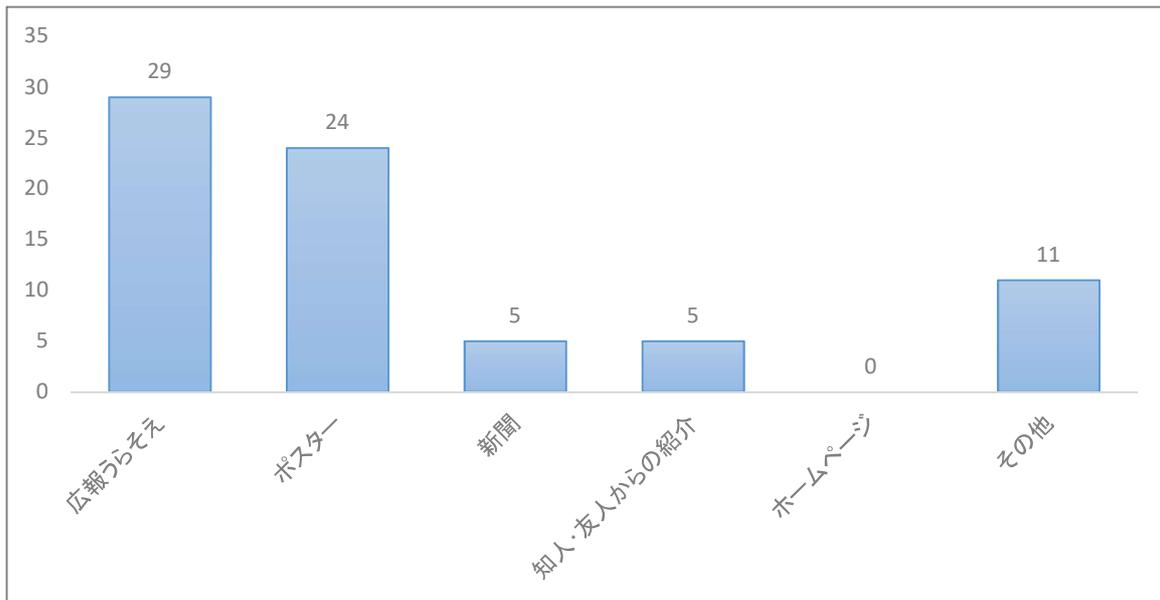


<来場者(アンケート回答者)の年代別内訳>

年代	人数
10代	1
20代	6
30代	5
40代	15
50代	11
60代	12
70代	15
80代	7
90代以上	0
未記入	1
計	73



①本日の市民公開講座を何(どこ)でお知りになりましたか？



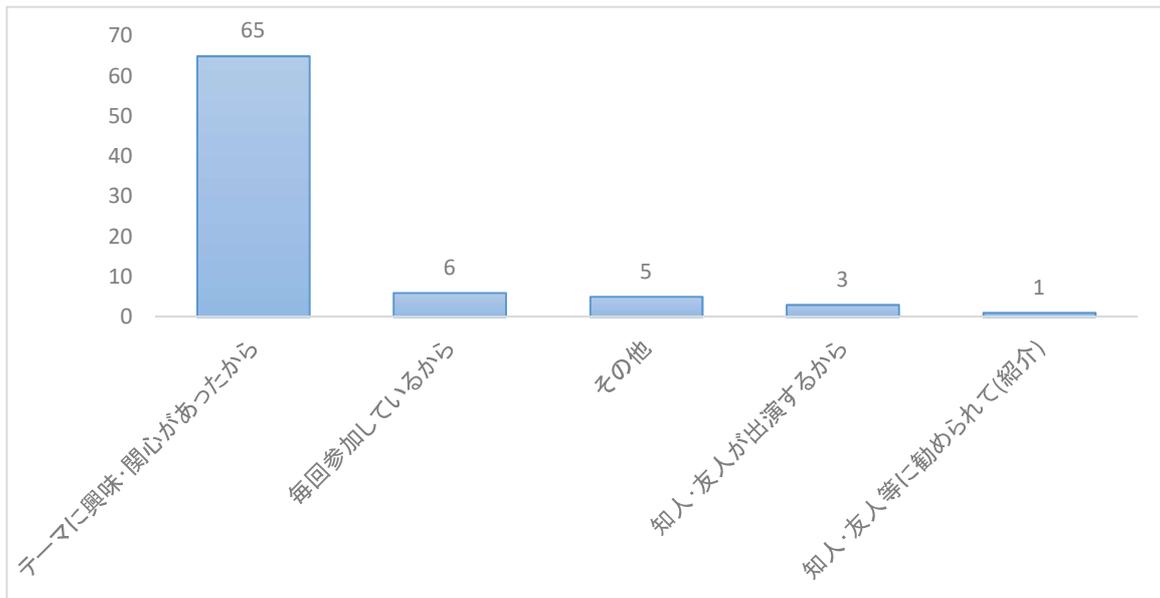
(ポスター内訳)

医療機関 15 介護サービス事業所 3 公民館 2 その他 1 無記入 3

(その他内容)

- ・職場
- ・学校の先生
- ・チラシ(沖縄県医療介護連携セミナー配布)
- ・浦添市介護支援専門員協会より
- ・前回(10/5)の公開講座

②本日ご来場された動機を教えてください。



(その他内容)

- ・業務上のスキルアップ
- ・身近な方が入退院する予定と退院した方がいる
- ・父が入院し、今後に備えるため
- ・医療ソーシャルワーカーとして役に立つ内容だったので
- ・現在、夫が入院して退院予定が決まっている為、極度の認知がある為

③本日の市民公開講座の内容はどうでしたか？感想などもお聞かせ下さい。

(* 要望や質問が含まれた感想)

・もっと多くの市民が聴ければいいのと思いました。
・樋口先生の講演は勤めていく中でとても参考になり、今後に活用させていただきたいと思いました。
・各パネリストの役割が理解しやすく救急病院(入院)から地域へ帰る為の動きの中で、支援できるシステムをもっと市民に伝えていけたらと思いました。今回のような市民公開講座を継続してほしいと思いました。
・すごくまとめてあり、わかりやすかった。時間をもう少し短くしてほしい。
・今の医療入退院の流れがわかりました(知らなかった)。自己決定できるようにするためには自分なりに情報をキャッチしたり、学習しないといけないのだな、できるのか？と不安が広がった。流れにのれないとどうなるのか？
・大変わかりやすく図を示めしての説明は理解しやすかった。(ポイントを示す光の動きがブレがあり使用の仕方もう少し工夫してほしい)
・話し方は良かった。多くのことを伝えたい気持ちは前面に出ていたが、多岐にわたるため細切れであったまとめ部分を重点にすれば理解しやすいと思う。
・大変分かりやすい説明で良かったです。すばらしいと思いました。さらに在宅につなげるときの話など安心して自宅で暮らしていく工夫などまでの話があったらうれしいなと思いました。
・講座内容は専門職にとっては非常にわかりやすく良かったと思いますが、一般市民を対象とした内容としては若干難しかったかと思いました。急性期、回復期、在宅維持期の役割をもう少しかみくだいて説明が聞けたら良かったと思いました。又、一連の流れをビデオ形式でみせてもわかりやすいかと…
・病院の役割、地域包括システムの話もわかりやすく説明されており、良かったです。多職種連携の説明も判りやすかったですが、他にも地域でサポートしているCSWや民生委員さんとの情報共有はどのように行っているのでしょうか。

③本日の市民公開講座の内容はどうでしたか？感想などもお聞かせ下さい。(続き)

(感想) * 自由意見含む

・とても勉強になりました。医療・介護保険等の仕組みを理解して対応していきたい。
・分かりやすく説明されており、とても参考になりました。
・わかりやすかったです。
・漠然としか考えていなかったのととても勉強になりました。
・資料に沿って分かりやすく説明していただいた。
・現在、母が入院しているので退院後は母がどうしたいのか、自分達に出来る事、してあげられる事等、色々考えさせられました
・資料も豊富でわかりやすい説明でした
・自分に身近な事だけど、制度等が複雑で経験がないとわからない事がたくさんあります。資料を家でも見返し今一度考えてみたいと思いました。
・とても内容が良くてわかりやすく資料を参考にしっかりと入れたいと思いました。
・とても勉強になりました。
・大変ためになった。
・とても良かった。家に帰って勉強します。
・とても良かったです。勉強になりました。
・大変勉強になりました。ありがとうございました。次回も参加したいと思います。
・初めての話でとてもためになりました。
・樋口先生がただ口でしゃべっているかと思いきやすばらしい資料をお使いになって、とても丁寧でわかりやすく、本当に来場者の一人として心から感謝します。難聴の私としても大助かり、ぜひこの機会に手話も身につけたい。
・資料は必要に応じて参考になりよかった。
・本日の講演を受けて大変勉強になりました。これから帰って人生会議を子ども達と一緒に相談したいと思いました。有難うございました。
・老人には非常に良い話だと思います。
・樋口先生のお話はとても聞きやすくてわかりやすかったです。
・大変よかった。自分にはとっと思っていましたが、ほんとに考えないといけない年なのに…
・病院の種類や介護サービスの利用など、様々な情報があると分かった。退院前に看取時の希望(どうしたい)を話し合っていない状況が多いと分かり、家族と話し合ってみたいと思った。
・お話にもあったように利用できるサービスや環境はたくさんあって、人それぞれ必要なものを必要な分適格に案内できるようになったらよいなと思いました。
・完結にわかりやすかったです。
・分かりやすくよかったです。前もってゴテゴテにならないようにする、本人、家族の意向が大事
・何時入退院支援が必要になるか理解できました。長期入院は
・とてもわかりやすく、勉強になりました。「人生会議」を家族でも行いたいと思いました。
・入院から退院までの流れがよくわかりました。
・わかりやすかった、文字みやすい。

④本日のⅡのパネルディスカッションの内容はどうでしたか？感想などもお聞かせ下さい。

(感想) * 自由意見含む

・分からない人に対して、細かく説明してくれてとてもわかりやすかったです。
・各パネリストの所属している所の役割、仕事内容が良くわかった。
・入院中から退院(在宅)への取り組みが良くわかりました。
・各専門の方に具体的なお話を聞くことができとてもよかった。
・各専門職種から観た、関わり方、サービス利用方法など細かに説明されており、分かりやすかった。
・みなさんわかりやすい内容でした。
・行政や色々な職種のプロの方に相談できる所、制度や問題点がわかり安心した。
・よく理解できました。仕事に活かしたいです。考えるきっかけになりました。ありがとうございました。
・多くの質問に答えていただき、退院支援にたずさわるにあたり、ヒントをもらえたと思います。ありがとうございました。
・各専門職の入退院支援についての説明がわかった。
・ケアマネジャーのお話がとても解りやすく楽しく聞く事が出来よかったです !!
・判りやすい説明でした。
・分野別に専門家がいて理解しやすかった。
・各職種の役割がわかりやすかったです。とにかく困ったら相談できる所があると聞いて安心しました。
・各パネラーの役割や仕事の内容がよくわかり自分にとって何が必要か考えさせられた。今後の課題とします。
・それぞれの支援などのあり方などがよりわかるようになりました。ありがとうございました。
・入院中から退院前から日頃から人生をどう生き終えんに向け具体的にえがいていくか。意志を明確にもてるようにしたいと思った。
・各専門の方の話がきけ、役割がわかったのはよかった。細やかなサポート体制が整っていることに感心しましたが、実際は連携とることは大変だろうな!?! でも各分野の方々が一生懸命取り組んでいる姿は頼もしい!!
・まあまあ理解出来ました。
・各担当の方から専門的な対応についてよく理解でき良かった。
・病院のこともわかりほんとうにためになりました。
・非常にありがたく思っています。
・各機関の取り組み、行っていること、目的が理解できた。入院する前から考えることが大切であると感じた。
・パネリストの説明の順番がよかった。
・とても参考になりました。

⑤今後、取り上げて欲しいテーマなど

・認知症について
・在宅医療を受けているご家族さんより利用者としての感想を聞けたらなと思いました。
・発達障がい
・若者向け(40代～50代)に介護や保健のワークショップ等親の面倒をみないといけに不安を解消したい。
・在宅で生活している認知症の方の入退院支援について
・徘徊で困っている家族からの相談
・認知症の方の在宅支援について
・地域でサポートしているCSWや民生委員さんとの情報共有はどのように行っているのか。
・がん治療中の支援(入院中、自宅療養中も含め)について取り上げてほしい。特に心のケアについて知りたいです。
・健康になれる。島野菜の活用法など
・もしものことがあることを想定し、自分の考えをもつことをきちんと考えよう!!
・来年介護保険法が改正されると各紙など報じ、老老介護の方々がすでに反対を表明しています。どう改正され、我々はどう考えていけばいいのでしょうか。
・このような講演は年度ごとに、あるいは地域に下して校区ごとにあってもいいのでは？
・今後も病院関係の話を教えて下さい。
・健康によい食べ物とか食べ合わせとかなど
・分かりにくい単語を説明する一覧があると持ち帰ったあとに、再び理解ができるのかと感じた。
・経口摂取と口腔ケアについて
・地域の力、本人(患者)の力について
・病院MSWとの連携
・事例からつなぐ継続した内容(急性期～転院～退院～在宅へとつながっていく)
・地域で取り組む入退院支援第2弾
・小児の在宅(気切など)関連機関情報など
・在宅と病院の利用のあり方(特に認知症)
・どうしたら市民に周知できるか、周知方法
・役所の介護保険の担当課も含めどのタイミングで介護保険の申請をどこにすれば良いのかなど、細かいテーマでも話がきけると良いかと思いました。
・施設、在宅での看取り
・心不全患者の意志決定支援
・独居高齢者(認知症疾患患者も含む)を支える在宅支援方法
・TV(ローカル番組などでもいいので)でも各病院の役割や高齢社会である世の中の現状(入所施設はどこもいっぱいになかなか入れない)在宅へ移行していこうという国の方針、歩けなくても寝たきりでも、要介護5でも在宅生活が可能な例などぜひTVなどで取り上げてほしい。元気なうちから考えていく大切さを知ってほしいし、知らせてほしい。